

石神井川及び白子川流域 浸水予想区域図(改定)

この図は水深の区分ごとの配色を、これまでの浸水予想区域図と同じにしています。

1. 説明文

- この図は、石神井川、白子川の流域を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される水深を表示したものです。これまでの浸水予想区域図は、大雨を「平成12年9月に発生した東海豪雨」としていましたが、今回の浸水予想区域図では「想定し得る最大規模の降雨」に変更しています。
- 皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の水防、避難」、「水害に強い生活様式の工夫」等に役立てていただくようお願いいたします。
- この浸水予想区域図(改定)は、想定し得る最大規模の降雨が「対象とした区域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における現時点(平成29年)での河川及び下水道の整備状況等を考慮しています。
- 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

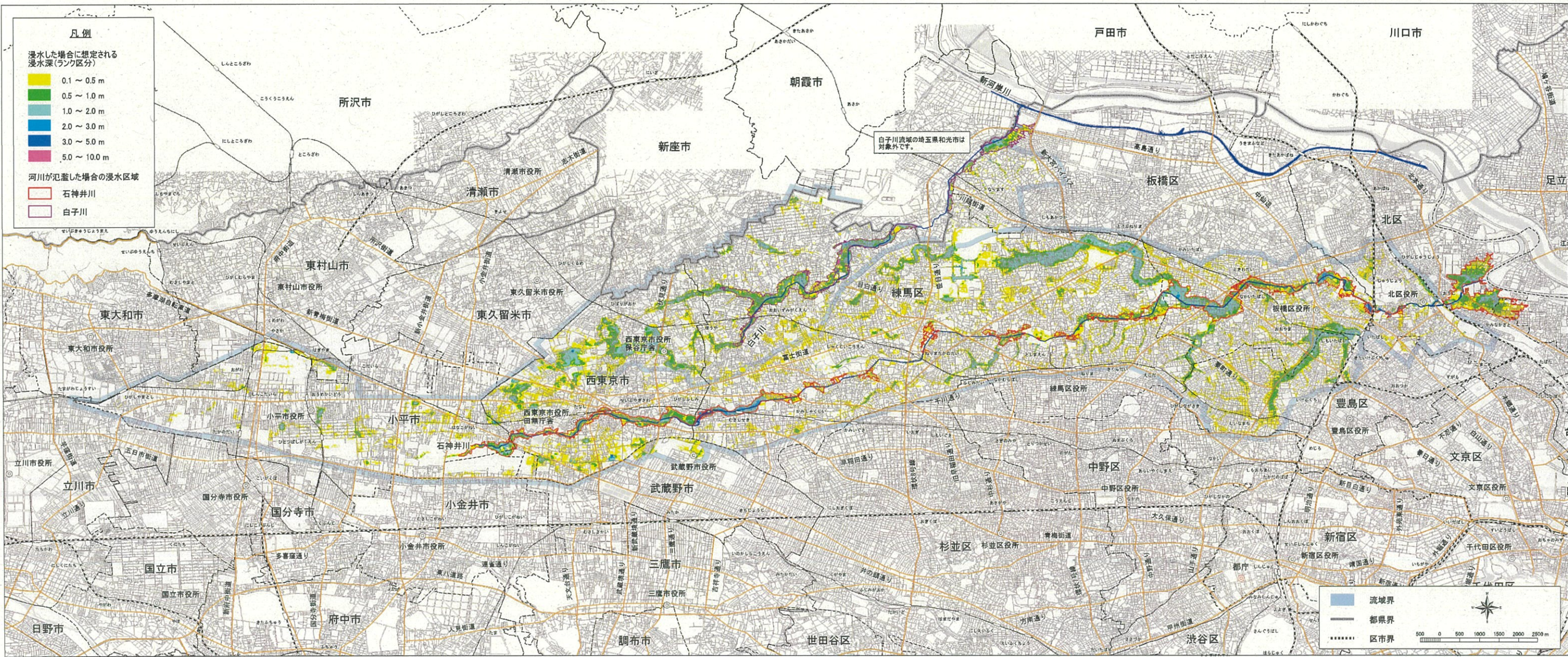
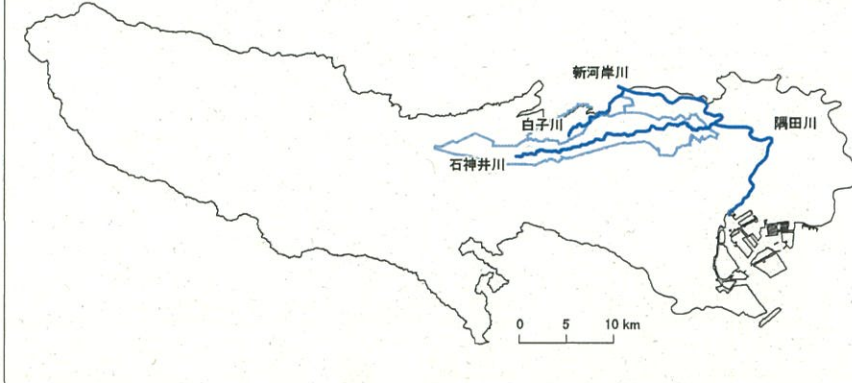
2. 基本的事項等

- 作成主体 都市型水害対策連絡会 (石神井川、白子川流域)
- 作成年月日 令和元年 5月 23日
- 対象とした地域 荒川水系 石神井川、白子川
- 対象とした降雨 想定最大規模降雨 (時間最大雨量 153mm 総雨量 690mm)
- 関係区市 豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、武蔵野市、小金井市、小平市、東村山市、西東京市

3. 注意事項等

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、地盤が低い箇所等では浸水したときの水深が大きくなるので注意してください。また、落ち葉による雨水ますの詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは反映しきれないため、注意してください。

位置図



凡例

浸水した場合に想定される浸水深(ランク区分)

- 0.1 ~ 0.5 m
- 0.5 ~ 1.0 m
- 1.0 ~ 2.0 m
- 2.0 ~ 3.0 m
- 3.0 ~ 5.0 m
- 5.0 ~ 10.0 m

河川が氾濫した場合の浸水区域

- 石神井川
- 白子川

流域界
都県界
区市界

500 0 500 1000 1500 2000 2500 m

この地図は、東京都縮尺2500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)30都市基交 第552号